

ChatGPT に聞いてみた 有名大学卒の起業



「有名大学卒で企業する人の割合、日本とアメリカを教えて」

ChatGPT:

日本とアメリカにおける「有名大学卒業者が起業する割合」は、正確な定義や調査の仕方によって異なりますが、傾向として以下のようなデータや特徴があります。

JP 日本の有名大学卒の起業割合

参考データ・傾向:

- **東京大学卒業生の場合:**
東京大学の卒業生のうち、起業する人はおよそ1～2%程度とされる報告があります(時期や調査母集団による)。
- **慶應義塾大学や早稲田大学なども含めた「有名私大」でも、**起業する人の割合は概ね数%未満程度と見られています。

- 経済産業省や中小企業庁のデータでは、日本の大学卒業者全体で見ても起業率は1～2%前後です。
- 日本では大企業志向や安定志向が強く、特に新卒で起業する人は少数派。

US アメリカの有名大学卒の起業割合

参考データ・傾向:

- **スタンフォード大学:**
卒業生の約15～20%がキャリアのどこかで起業経験ありとされています。スタートアップ・エコシステムが非常に活発。
- **MIT(マサチューセッツ工科大学):**
卒業生のうち、起業経験者は25%以上とも言われています。
- **ハーバード大学 MBA 卒業生のうち、**10～20%**が卒業後数年以内に起業する**といった報告もあります。
- アメリカ全体では、大学卒業者のうち起業経験があるのは**5～10%程度**という調査結果が多いです。

比較まとめ(あくまで目安):

区分	日本(東大など)	アメリカ(スタンフォードなど)
起業する割合(概算)	約1～2%	約10～20%(場合による)
キャリア中に起業経験あり	約5%未満	約15～30%(大学による)

補足ポイント:

- アメリカではVC(ベンチャーキャピタル)や起業支援制度が整っており、起業文化が強い。
- 日本では社会的・文化的な理由で起業は「リスクが高い」とされがち。
- アメリカの有名大学では、学生時代に起業する人も多く、インキュベーション施設やネットワークが非常に発達している。